

# Indonesia Weekly

2020年11月16日



(対象期間：2020/11/9～2020/11/13)

## 【株式市場】 ジャカルタ総合指数の推移 (2016年1月4日～2020年11月13日)



## 【株式市場】

米大統領選挙を巡る不透明感の後退や、新型コロナウイルスのワクチンの有望な治験結果を受けて世界的に株高となる中で、インドネシア株式市場は週間で上昇しました。前週から引き継いで5連騰後、12日には利益確定売りに押されやや調整しましたが、13日は小幅上昇となりました。セクター別では消費財セクター以外の全セクターが上昇しました。特に銀行株は外国人投資家の旺盛な資金流入を背景に大幅上昇となりました。

2020/11/6	2020/11/13	変化率
5,335.53	5,461.06	+2.35%

## 【債券市場】 インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移 (2016年1月1日～2020年11月13日)



## 【債券市場】

インドネシア10年国債利回りは週間でほぼ変わらずとなりました。週初は米大統領選挙を巡る不透明感の後退や新型コロナウイルスのワクチンへの期待からリスク選好の動きとなり、外国人投資家による資金流入を背景に利回りは低下（価格は上昇）しました。その後、米債利回りの上昇などを週半ばには利益確定売りから利回りは上昇しました。10日のイスラム国債入札では堅調な需要が見られました。週末にかけては来週の国債入札が意識され小動きとなりました。

2020/11/6	2020/11/13	変化幅
6.298	6.297	-0.001

## 【為替市場】 インドネシアルピアの対円レートの推移 (2016年1月1日～2020年11月13日)



## 【為替市場】

ルピアは週初は前週の流れを受けて上昇しましたが、週半ばから週末にかけては利益確定売りや企業の米ドルの実需買いなどが見られ、徐々に上値が重くなりました。しかし、株式や債券市場への外国人投資家による旺盛な資金流入により、下落幅は限定的でした。週間では対米ドル、対円ともに上昇しました。

2020/11/6	2020/11/13	変化率
0.7240	0.7386	+2.02%

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

### イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシュランス社とは関係がありません。

